

注：指示があるまで開けないで下さい。

総合防犯設備士試験 科目Ⅱ

科目Ⅱ(必須)	
出題	4 問
時間	90 分
配点	問題1-問題3 各 20 点、 問題 4 40 点 ・ 合計 100 点

受験番号	24 — —
氏 名	

注意事項

1. 座席は指定されています。受験番号を確認して着席して下さい。
2. 机の上には「受験番号」「筆記用具」以外のものは置かないで下さい。
3. **受験番号・氏名は、はっきりと記入して下さい。**
4. 解答は、設問にしたがって楷書体で解答欄に記入して下さい。
5. **「試験問題」「解答用紙」は試験終了後すべて回収します。**
6. 試験時間内に退席される場合は、試験問題・解答用紙を机の上に置き試験官の許可を得て静かに退席して下さい。
ただし、試験開始後30分、および試験終了前 10 分間は退席できません。
退席後、試験会場近辺では、静かにお願いします。
7. 試験会場においては、試験官の指示にしたがって下さい。



公益社団法人 日本防犯設備協会

科目Ⅱ 問題1 (1セキュリティについて 2犯罪と防犯)

各文章の空欄に当てはまる用語を埋めよ。

1. ケリー・ベッカーによって提唱された考え方で、合理的選択理論というものがある。企業が経済活動をするときに、その成果の可能性や損得を検討し判断するのと同様に、犯罪者も犯行の実施または断念を決める損得計算をするというものである。この判断の3要素としては次の通りである。
 - i 犯罪の実行に際して要する費用に見合った十分な見返りがあるか。
 - ii (①)が低い。
 - iii (②)が得られるか。
2. セキュリティの専門家には、セキュリティマネジメントを実施する能力が必要であり、それには専門知識、総合的・多角的な判断力と応用能力、リスク・危機管理能力のほかに(③)や(④)がある。
3. 危機管理体制の構築については、平時の体制と非常事態発生時の体制の双方を構築する必要がある。「被害発生予防と回避」については、平時における「予防と備え」を主たる活動とする体制を構築することが大事である。しかし、これで被害の発生を100%防ぐことは不可能なので、「(⑤)」と考えて、被害発生時の適切な対応と(⑥)ができる体制も構築しておく必要がある。
4. 「備えあれば患いなし」という言葉があるように、リスクに適切に対応するためには、緊急事態発生時に使用する施設、装置、生活必需品などの備蓄とその緊急調達などについての準備が必要である。ここで装置としては、(⑦)があり、生活必需品としては、(⑧)、(⑨)、(⑩)がある。

【解答欄】

①	
②	
③	
④	
⑤	
⑥	
⑦	
⑧	
⑨	
⑩	

科目Ⅱ 問題2 (犯罪と防犯)

住宅のみならず店舗、事務所又はこれらを含む地域での犯罪の防止に向けては、犯行を諦めさせる環境、犯行を起こさせない環境を作ることが重要である。このために必要な要素を記入例にならって四つ記せ。

【解答欄】

	必要な要素（具体例があれば()書きで記せ）
①	内外への告知（犯罪を起こさせない意思表示）
②	
③	
④	
⑤	

科目Ⅱ 問題3 (総合防犯)

1. 危機管理は平時における非常事態への備えが大事である。

備えの中の最悪事態を想定した事前準備で大切なことを 記入例にならって3つ記せ。

【解答欄】

①	権限移譲
②	
③	
④	

2. リスクマネジメント(リスク管理)と危機管理は備えのステップが同じか似ているため混同されがちである。

リスクマネジメント(リスク管理)と危機管理の違いを 記入例にならって記せ。

【解答欄】

	リスクマネジメント(リスク管理)	危機管理
対象リスク	被害発生想定リスク	
目 的	被害発生予防と回避	被害発生と予防と回避
	被害最小化、再発防止	被害最小化、再発防止
	事前の備えで被害補填	

科目Ⅱ 問題4 (1セキュリティについて 2犯罪と防犯)

これまで日本では諸外国と比べて、水も空気も安全もタダと言われてきた。しかしながら、現在ではどれもお金がかかるものになってきている。ではなぜ、これまで安全で平和であったのか、記入例にならって二つの具体例を挙げて、それぞれについて簡潔に説明せよ。

【解答欄】

①	具体例 周辺国との関係が比較的良好に保たれてきたこと
	説明 他国による侵略や略奪行為が、ほとんど発生しなかったため
②	具体例
	説明
③	具体例
	説明